



## ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

1/10

改訂日: 2019/05/28

印刷日: 2019/05/28

### 1. 製品及び会社情報

#### 1.1 製品情報

製品名 ウィーデンWDG

製品コード (UVP) 06111423

#### 1.2 推奨用途及び使用上の制限

使用 除草剤

#### 1.3 安全データシート作成者

供給者情報 バイエルクロップサイエンス  
株式会社  
東京都千代田区丸の内1-6-5

電話番号 03-6266-7419

FAX番号 03-5219-9735

担当部門 生産本部 QHSEグループ

#### 1.4 緊急時の連絡先

グローバルインシデント対応 +1 (760) 476-3964 (Company 3E for Bayer AG, Crop Science Division)  
ホットライン (24時間対応)

### 2. 危険有害性の要約

#### 2.1 物質または混合物の分類

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアルによる分類（改訂4版）

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2A  
H319 強い眼刺激。

水生環境有害性(急性): 区分2  
H401 水生生物に毒性。

水生環境有害性(長期間): 区分2  
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

#### 2.2 ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル（第4改訂版）による表示

供給/使用のための危険有害性の表示が必要である。



ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

2/10

改訂日: 2019/05/28  
印刷日: 2019/05/28



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

- H319 強い眼刺激。
- H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

- P264 取り扱い後は手および顔をよく洗うこと。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P273 環境への放出を避けること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P391 漏出物を回収すること。
- P501 内容物/容器の廃棄は地域の規則に従い行うこと。

2.3 他の危険有害性

粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。

3. 組成及び成分情報

3.2 混合物

化学名又は一般名

顆粒水和剤 (WG)  
Oxaziclomefone 30%, Iodosulfuron-methy-sodium 2%

危険有害成分

名称	化学名	CAS番号 / 官報公示整理番号	濃度 [%]
ヨードスルフロメチルナトリウム塩	メチル=4-ヨード-2-[3-(4-メトキシ-6-メチル-1, 3, 5-トリアジン-2-イル)ウレイドスルホニル]安息香酸, ナトリウム塩	144550-36-7	2.0
オキサジクロメホン	3-[1-(3, 5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3, 4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1, 3-オキサジン-4-オン	153197-14-9 8-(7)-1478	30.0
Sulfonated aromatic		68425-94-5	



## ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

3/10

改訂日: 2019/05/28

印刷日: 2019/05/28

polymer, sodium salt			
Aromatic hydrocarbons, C10-13, reaction products with branched nonene, sulfonated, sodium salts		1258274-08-6	
Kaolin		1332-58-7	

## 詳細情報

ヨードスルフロ ンメチルナトリ ウム塩	144550-36-7	M-ファクター: 1,000 (急性)
---------------------------	-------------	---------------------

## 項目 4: 応急措置

## 4.1 必要な応急手当

## 一般的アドバイス

危険域から避難させる。直ちに汚染された衣類を脱がせ、安全に廃棄すること。被災者を安全な場所で安定な姿勢にさせること。（片側を下にして横にする）。

## 吸入

新鮮な空気のある場所へ移動する。患者を暖かく安静にしておく。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

## 皮膚接触

石鹼と水で十分に洗い流すこと。症状が持続する場合は、医師に連絡する。

## 眼に入った場合

直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め、多量の水でゆすぐ。コンタクトレンズを装着している場合は、着用した状態で最初の5分間洗浄した後に取り外し、更に洗浄を続けること。刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。

## 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

## 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

## 症状

知られていないか予想されない症状。

## 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

## 取り扱い

症状に応じた治療を行う。胃洗浄は通常必要ありません。しかし、多量（一口以上）に摂取した場合は、活性炭と硫酸ナトリウムを投与してください。



## ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

4/10

改訂日: 2019/05/28

印刷日: 2019/05/28

## 5. 火災時の措置

## 5.1 消火剤

適切な消火剤 水噴霧, 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>), 泡, 砂

使ってはならない消火剤 大型棒状の水

## 5.3 消防士へのアドバイス

消火を行う者の保護 火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。火災時には、自給式呼吸器を着用する。

詳細情報 消火剤の拡散を抑えること。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

## 6. 漏出時の措置

## 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項 漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。保護具を使用する。

6.2 環境に対する注意事項 地表水、排水口、地下水に入らないようにすること。

## 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去方法 荷役機械を使用する。汚染された床や物を徹底的に清掃し、環境規制を遵守すること。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

6.4 参照すべき他の項目 安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。  
個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。  
廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項 適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。

安全取扱い注意事項 熱や発火源から遠ざける。

衛生対策 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。作業服は別に保管する。作業の直後に手を洗い、必要に応じてシャワーを浴びること。汚れた衣服を直ちに脱がせ、洗濯し再使用すること。汚れた衣服が洗濯できない場合は、廃棄（焼却処理）をすること。

## 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管場所および容器の必要条件 納品時の容器でのみ保管する。乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。保管場所には、許可された者のみが入り出す。直射日光を避ける。凍結から守る。



ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

5/10

改訂日: 2019/05/28  
印刷日: 2019/05/28

一般的な保管について	食物、飲み物、飼料から遠ざける
適切な容器包装材料	ポリプロピレン (PP)/ポリエチレン (PE) 蒸着フィルム
7.3 特定の最終用途	ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

項目 8: ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

成分	CAS番号	管理濃度	更新日	基準
ヨードスルフロンメチルナトリウム塩	144550-36-7	1 mg/m <sup>3</sup> (TWA)		OES BCS*
Kaolin (粉じん)	1332-58-7	0.025 mg/m <sup>3</sup> (TLV)	09 2015	JPISHL OEL
Kaolin (吸入性粉塵)	1332-58-7	1 mg/m <sup>3</sup> (TWA)	09 2015	JPJSOH OEL
Kaolin (総粉じん)	1332-58-7	4 mg/m <sup>3</sup> (TWA)	09 2015	JPJSOH OEL

\*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

8.2 曝露防止

保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

呼吸用保護具

製品が封入されていない状態で取り扱われ、接触が発生する可能性がある場合：  
欧州規格EN149FFP1、又は同等規格に適合する粒子フィルターマスク付き（保護係数4）の呼吸用保護具を着用すること。  
フィルタAまたは自給式呼吸器

手の保護具

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。  
汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。  
材質 ニトリルゴム  
透過度 > 480 min  
手袋の厚さ > 0.4 mm  
防護指数 クラス 6  
指令 EN374に準じた防護手袋。

眼の保護具

欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合する保護眼鏡を着用すること。



## ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

6/10

改訂日: 2019/05/28

印刷日: 2019/05/28

## 皮膚及び身体の保護具

標準的なつなぎの作業着とカテゴリー3タイプ6の化学防護服を着用すること。  
重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。  
可能であれば、2層の衣類を着用すること。 ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。  
化学防護服が飛散したり、噴霧されたり、著しく汚染された場合は、できるだけ除染し、製造業者の指示に従って慎重に除去して処分する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

形状	顆粒水和剤
色	ベージュ
臭い	弱い, 特異臭
pH	8.0 - 10.0 (1 %) (23 ° C) (脱イオン水)
最低点火エネルギー	> 1,000 mJ
かさ密度	0.579 - 0.679 g/ml (ゆるい)
n-オクタノール/水分配係数	ヨードスルフロメチルナトリウム塩: log Pow: -0.7 オキサジクロメホン: log Pow: 3.7 (25 ° C) (pH 5 - 9)

## 9.2 その他の情報

その他の安全性に関するデータなし

## 10. 安定性及び反応性

## 10.1 反応性

熱分解 約 210 ° C

## 10.2 化学的安定性

推奨保管条件下では安定。

## 10.3 危険有害反応可能性

規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。

## 10.4 避けるべき条件

極端な温度と直射日光。

## 10.5 配合禁忌

強酸化剤, 強還元剤

## 10.6 危険有害な分解生成物

通常の取扱い条件下では分解生成物はなし。



## ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

7/10

改訂日: 2019/05/28  
印刷日: 2019/05/28

## 項目 11: 有害性情報

## 11.1 毒性情報

急性毒性（経口） LD50 (ラット) &gt; 2,000 mg/kg

急性毒性（吸入） ATE (混合物) > 5.0 mg/l  
ばく露時間: 4 h  
データなし  
計算による方法

急性毒性（経皮） LD50 (ラット) &gt; 2,000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 皮膚 刺激なし (ウサギ)

眼に対する重篤な損傷性又は  
眼刺激性 軽度の眼刺激 (ウサギ)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 皮膚感作性なし (モルモット)

## 特定標的臓器毒性－単回ばく露

ヨードスルフロメチルナトリウム塩: 入手可能なデータによれば、分類されない。

オキサジクロメホン: 入手可能なデータによれば、分類されない。

## 特定標的臓器毒性－反復ばく露

ヨードスルフロメチルナトリウム塩は、動物実験において特定の標的臓器毒性を示さなかった。

オキサジクロメホン: 入手可能なデータによれば、分類されない。

## 変異原性

ヨードスルフロメチルナトリウム塩は、in vitro及びin vivo試験における変異原性または遺伝毒性は認められなかった。

オキサジクロメホン: 入手可能なデータによれば、分類されない。

## 発がん性

ヨードスルフロメチルナトリウム塩は、ラット及びマウスの試験において発がん性は認められなかった。

オキサジクロメホン: 入手可能なデータによれば、分類されない。

## 生殖毒性

ヨードスルフロメチルナトリウム塩は、ラットの2世代研究では生殖毒性を引き起こさなかった。

オキサジクロメホン: 入手可能なデータによれば、分類されない。

## 発生毒性

ヨードスルフロメチルナトリウム塩は、ラットおよびウサギにおいて発生毒性を引き起こさなかった。

オキサジクロメホン: 入手可能なデータによれば、分類されない。

## 12. 環境影響情報

## 12.1 生態毒性

魚毒性 LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) &gt; 1,000 mg/l



## ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

8/10

改訂日: 2019/05/28

印刷日: 2019/05/28

ばく露時間: 96 h

水生無脊椎動物に対する毒性 EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) > 1,000 mg/l  
ばく露時間: 48 h水生植物に対する毒性 ErC50 (藻類) 2.78 mg/l  
成長速度; ばく露時間: 72 h

## 12.2 残留性・分解性

## 生分解性

ヨードスルフロメチルナトリウム塩:  
急速分解性がない  
オキサジクロメホン:  
データなし

Koc

ヨードスルフロメチルナトリウム塩: Koc: 45  
オキサジクロメホン: データなし

## 12.3 生体蓄積性

## 生体蓄積性

ヨードスルフロメチルナトリウム塩:  
生物濃縮なし  
オキサジクロメホン: 生物濃縮因子 (BCF) 264.5 - 378.0

## 12.4 土壌中の移動性

## 土壌中の移動性

ヨードスルフロメチルナトリウム塩: 土壌中の移動性  
オキサジクロメホン: 土壌中の不動性

## 12.5 PBT および vPvB の評価結果

## PBT および vPvB の評価

ヨードスルフロメチルナトリウム塩: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられていない。  
オキサジクロメホン: データなし

## 12.6 その他の有害影響

## 13. 廃棄上の注意

## 13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

## 14. 輸送上の注意

## 国内規則

鉄道および道路輸送  
指針番号  
海上輸送  
航空輸送非該当  
171  
船舶安全法の規制に従う。  
航空法の規制に従う。





ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

9/10

改訂日: 2019/05/28  
印刷日: 2019/05/28

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

**IMDG**

14.1 国連番号 **3077**  
 14.2 国連輸送名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.  
 (IODOSULFURON-METHYL-SODIUM MIXTURE)  
 14.3 輸送危険有害性クラス 9  
 14.4 容器等級 III  
 14.5 海洋汚染物質(該当・非該当) 該当

**IATA**

14.1 国連番号 **3077**  
 14.2 国連輸送名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.  
 (IODOSULFURON-METHYL-SODIUM MIXTURE )  
 14.3 輸送危険有害性クラス 9  
 14.4 容器等級 III  
 14.5 環境危険有害性マーク 該当

**15. 適用法令**

**15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律**

**詳細情報**

WHO分類: III (わずかに有害)

**農薬取締法**

登録番号 : 22320 (Bayer CropScience K.K.)

**消防法**

非該当

**労働安全衛生法**

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

沃素化合物 (沃化物) 2.0 %

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

沃素化合物 (沃化物) 2.0 %

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)**

**第1種指定化学物質**

化学名	番号	含有量 (%)
3- [1- (3,5-ジクロロフェニル) -1-メチルエチル] -3,4-ジヒドロ-6-	172	30.0



## ウィーデンWDG

版番号 1/J  
102000015979

10/10

改訂日: 2019/05/28

印刷日: 2019/05/28

メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジン-4-オン		
------------------------------	--	--

### 16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。
2. 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話  
(情報提供料:無料) (情報提供料:一件2,000円)

大阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。
--